

# 福永武彦「飛ぶ男」論

— マラルメ「窓」を通して見る〈回生〉の物語 —

中島 葵

(文16-505 国語国文学専修 国文学コース)

- 1、「飛ぶ男」の梗概
- 2、先行研究と本研究の概要
- 3、〈魂〉の意識を持つ「彼」
- 4、〈肉体〉の意識を持つ「彼」
- 5、最終節の描写の意味

## 1、「飛ぶ男」の梗概

「彼」が8階にある病室を抜け出し、エレベーターに乗り込む場面から物語は始まる。エレベーターの急降下によって、「彼」の意識は〈魂〉と〈肉体〉とに二分されてしまう。〈魂〉の意識をもつ「彼」はそのまま病院8階に留まり、〈肉体〉の意識をもつ「彼」はエレベーターとともに下降する。

〈魂〉の「彼」は下半身不随で病室のベッドの上から一步も動けない生活を強いられているため、空想や妄想に耽って過ごす。

一方、病院を脱した〈肉体〉の「彼」は、夕暮れの街を歩き続け、大河に掛かる橋に辿り着く。

橋の上から病院を見つめる〈肉体〉の「彼」の目に入ったのは、病室の窓を乗り越える〈魂〉の「彼」の姿である。〈魂〉の「彼」は落ちずに浮遊し、〈肉体〉の「彼」の方へと向かってくる。

## 2、先行研究と本研究の概要

- ① ステファヌ・マラルメの詩「窓」の影響を受けている。
  - 指摘のみにとどまっており、「窓」の影響を詳細に述べた先行論はない。
- ② 最終節における〈魂〉・〈肉体〉の「彼」の合一を予感させる描写は、この後に起こる「彼」の〈死〉を意味する。
  - 〈死〉を意味せず、むしろ〈死〉という危機的状況からの〈回生〉を意味するのではないか。



マラルメの詩「窓」の影響を確認しながら、「飛ぶ男」の最終節における描写の意味を考察し、全体のテーマを捉え直す。

## 3、〈魂〉の意識を持つ「彼」

【福永武彦「飛ぶ男」】

- ・寝る向きで変わる時間意識の方向  
ex) 過去・現在・未来
- 追憶に耽ったり、未来を想像して愉しむものの(飛翔願望が透けて見える)結局すぐに意識は現在に戻される。変化なく続く現在の先にある死に絶望。
- ・廊下は過去、病室は現在、窓の外は未来を象徴
- ・〈魂〉の「彼」の節で頻りに呈示される時刻
- 時間への深い執着。捨てきれずにいる未来への一抹の希望。

【マラルメ「窓」】

- ・理想と現実を分かち障壁を象徴する窓の前で絶望する瀕死小心の病人
- ・窓に映る翼を持つ天使の姿の自分

飛翔願望を持つ点  
“窓”の前で足踏みするしかない点で共通。  
**未来/現在**  
**理想/現実**

⇒〈魂〉の「彼」は時間概念に束縛されている者

## 4、〈肉体〉の意識を持つ「彼」

【福永武彦「飛ぶ男」】

- ・病院～橋の道のりを夕暮れ時～日没直前で移動。
- ・日没までに、置いてきた〈魂〉を取り戻すことが目的。→なぜ？
- ・日没直前に「彼」が橋の上から見る光景が、マラルメ「窓」第四・五連の夕暮れの情景描写と一致。

【マラルメ「窓」】

- ・時間帯は夕暮れ時。全体を通して夕焼けの描写が印象的。
- ・「窓」における夕焼け描写は、病人の運命(=死)の前置。

夕焼けが〈死〉の前触れならば、日没=夜の到来は〈死〉そのものを示す。  
⇒〈肉体〉の「彼」は〈死〉の気配を自覚しながら、〈魂〉を取り戻すことによってそれを回避しようとする者

## 5、最終節の描写の意味

〈魂〉	「今はただ死んで行くだけだ。」	→〈死〉に対する回避願望なし ⇒受動的
〈肉体〉	「意識はすべて十全でなければならない。」	→〈死〉に対する回避願望あり ⇒能動的

意志の不一致

【〈魂〉の「彼」に起こる意志の変化】

- 迫り来る死の恐怖に脅かされた〈魂〉の「彼」の妄想が爆発するように暴走
- 妄想が「終リノ日」を誘発
- 「終リノ日」によって地球は崩壊し引力は失われ、万物は宇宙へ
- 〈魂〉の「彼」は宇宙空間を漂泊することで飛翔願望を達成
- 同時に、飛翔の代償として〈死〉がもたらされることを悟る

生きて時間概念に縛られ続ける or 死んで時間概念から解放される

時間概念が存在しない場所

マラルメ「窓」の病者の場合 → 理想世界に逃避するための方法としての自死を選択(窓から投身)

かつて〈魂〉の「彼」は思索に耽る中で、自死を明確に否定している

「人間ハ、神ニトツテの不可能ナ方法デアル自殺ニヨツテシカ、神ニ反逆スル術ヲ知ラナイ。シカシ自殺ハ明ラカナ敗北ナノダ。ソレハ、運命ニ対シテ何ノ足シニモナラナイ。」

【最終節〈魂〉から〈肉体〉への移動】

⇒〈魂〉の「彼」は、時間に拘束され続けながらも生きる未来を選択したことを示す

意志の一致

〈魂〉〈肉体〉の「彼」らはともに、神の傀儡として生きるのではなく、自らの運命を直視し、自らの意志で生きようとする

- ・合一を予感させる描写は死ではなく、〈回生〉を意味する。
- ・「飛ぶ男」はマラルメ「窓」とは異なり、力強く生きようとする「彼」の意識の変化の流れが描かれた作品である。